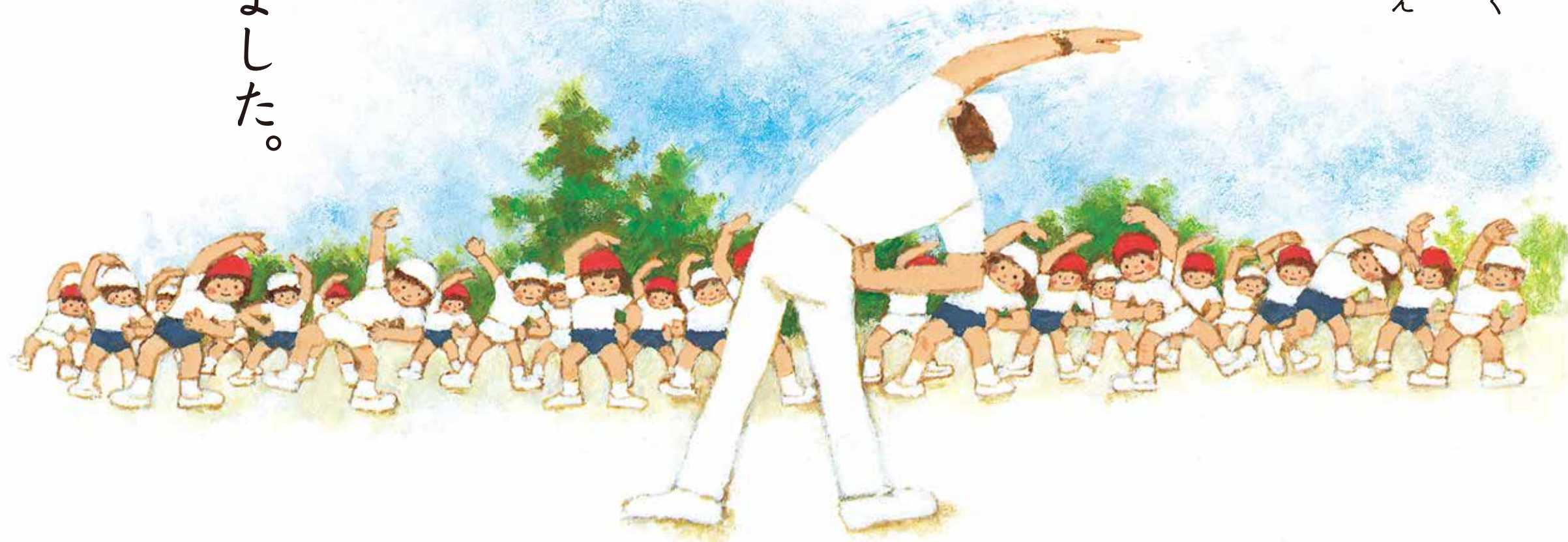


四じかんめの ことです。
一ねんニくみの 子どもたちが
たいそを して いると、空に、
大きな くじらが あられました。
まっしろい くもの くじらです。



「一、二、三、四。」
くじらも、たいそを はじめました。
のびたり ちぢんだり して、
しんこきゅうも しました。
みんなが かけあして
うんどうじょうを まわると、
くもの くじらも、空を まわりました。
先生が ふえを ふいて、
とまれの あいずを すると、
くじらも とまりました。

「まわれ、みぎ。」
先生が こうれいを
かけると、くじらも、空で
まわれみぎを しました。
「あの くじらは、きつと
がっこうが すきなんだね。」
みんなは、大きな こえて、
「おうい。」
と よびました。
「おうい。」



と、くじらも
こたえました。
「ここへ おいでよう。」
みんなが さそうと、
「ここへ おいでよう。」
と、くじらも さそいました。
「よし きた。くもの
くじらに とびのろう。」
男の子も、女の子も、
はりきりました。



みんなは、手をつないで、まるい わに になると、
「天まで とどけ、一、二、三。」
と ジャンプしました。でも、とんだのは、やっと
三十センチぐらいです。
「もっと たかく。もっと たかく。」
と、くじらが おうえんしました。
「天まで とどけ、一、二、三。」
こんどは、五十センチぐらい とべました。
「もっと たかく。もっと たかく。」
と、くじらが おうえんしました。



「天まで とどけ、
一、二、三。」
その ときです。
いきなり、かぜが、みんなを
空へ ふきとばしました。
そして、あっと いう まに、
先生と 子どもたちは、
手をつないだ まま、くもの
くじらに のって いました。

「さあ、おようぞ。」
くじらは、青い 青い
空の なかを、
げんき いっぱい
すすんで いきました。
うみの ほうへ、
むらの ほうへ、
まちの ほうへ。

みんなは、うたを
うたいました。
空は、どこまでも
どこまでも
つづきます。



「おや、もう おひるだ。」
先生が うてどけいを
みて、おどろくと、
「では、かえろう。」
と、くじらは、まわれみぎを
しました。

しばらく いくと、がっこうの
やねが、みえて きました。
くじらぐもは、ジャングルジムの
うえに、みんなを おろしました。

「さようなら。」
みんなが 手を ふった
とき、四じかんめの
おわりの チャイムが
なりだしました。
「さようなら。」
くもの くじらは、また、
げんき よく、
青い 空の なかへ
かえって いきました。

